

広報

あしかわ

2005
1月号
No.558

君のハートよ
位置につけ

2007 第62回国民体育大会

秋田わか杉国体

合川町はフェンシング競技の開催地です



輝かしい未来に向かって希望を新たに

合川町成人式（関連記事13ページ）



行政報告

町議会12月定例会

12月定例会、12月14日から17日まで開かれました。定例会初日の本会議で、佐藤修助町長が行った行政報告のあらましは次のとおりです。

合川町議会12月定例会以降の行政の取り組みの主たる事項及び今後予定している事項や取り組むべき課題について報告します。

新病院について 厚生連に協力要請

鷹巣阿仁地域合併協議会は9月30日の第12回協議会で「病院事業」と「新まちづくり計画」についての確認が行われ、10月19日には、秋田県知事の立会いのもとで4町長による合併協定書の調印式が行われました。

当町では、臨時広報を発行して合併協定書の内容の周知を図るとともに、10月20日から、町内4会場で、これまでの協議経過などについて説明し広く意見を伺いたいとの呼びかけで地区座談会を開催しました。各会場では、合併後の地域づくりに向けた期待や要望等が集まり、町民それぞれに新市誕生への心の準備が進んでいるとの強い印象がありました。

10月25日には4町それぞれに臨時町議会を召集して「市町の廃置分合について」など、新市設置に関する諸議案を提案し、翌26日の当町議会での議決を受けて、10月29日には4町長が

秋田県知事に合併申請を行いました。

現在、4町間の事務調整と新市平成17年度予算の編成作業が、合併協議の確認を踏まえて、職員間の細部の協議を積み重ねる形で進められています。地方自治体を取り巻く厳しい環境の中で、新市建設に寄せられている大きな期待に応えるべく意を注いで取り組んでいます。

なお、現在の当町役場庁舎は新市の「総合支所」として合併前の機能をできるだけ維持するとの確認を基に、職員の配置等の検討が行われています。また、新市で建設する「新病院」については、11月5日、4町長と秋田県厚生農業協同組合連合会役員との協議を行い、新病院を「公設民営」とする構想についての要請を行います。

広報あいかわ縮刷版を発行します

合川町町制施行記念式典は、昭和30年3月31日の合

川町発足を記念して、毎年同日に行われてまいりましたが、50周年にあたる明年の開催については、これまで同様に町制功労者等の顕彰の機会として設定したいと考えて、閉庁行事と関連した形で日程等の検討を重ねています。

記念事業として、平成2年以降の「広報あいかわ」を1冊にまとめた「広報縮刷版」の発行を企画しました。1月中旬に頒布の申し込みを受け付ける予定で、今定例会の補正予算にその費用を計上いたしました。なお、平成元年分までの縮刷版は平成2年に発行されており、今回の発行は費用の一部を町民頒布価格として設定しています。

遊休町有地の有効活用を推進

町では「地方分権推進計画」によつて道路・河川・堤などの国有地を「法定外公共物」として市町村に譲渡してもよいとの国の方針を受けて、計画的にその事務を進めてきましたが、今年度中には、町内全域で、町財産としての譲り受けが完了する予定です。また、

町では、老朽化した町有施設の管理上の問題と遊休土地の有効活用の観点から、各所管の施設について民間への売り渡しの検討を進めてきました。

遊休土地の処分につきましては、隣接居住者等の理解を求めながら適切な売却価格の設定など、公平性の原則に立った事務の徹底を期しており、12月6日に開かれた集落代表者会議でも、地域内の有効な土地利用のための協力をお願いしています。今定例会には、

法定外公共物について必要な場所から町財産としての測量等を行いたく、その費用を補正予算として計上しています。

10月23日に発生した新潟中越地震の罹災に対して、町内には、地震直後から、その支援策の全町的な展開についての協議があり11月1日には、関係団体の意向を集約した形で合川町婦人会の毎戸募金活動が始まっています。同募金活動には、11月20日までに小学生の全



3月22日の合併に向け、最終調整中です (写真＝合併調印式)

良き伝統を引き継ぎ 新しい希望に向かって進もう北秋田市



安心して暮らせる明るい社会を！
(写真＝保育園子育て支援あいあい)

校募金なども加えて132万円余りが寄せられており、合川町社会福祉協議会を通じて罹災者にお届けしました。

引き続き町職員団体からの義援金などが寄せられています。町民募金に加えて町の公費負担での支援策も講じたいと考えて、今定例会には、義援金（100万円）を補正予算に計上しています。

11月3日に発令された秋の叙勲で、当町では元収入役 木村士郎氏が瑞宝双光章を受けられました。自治

活動や福祉活動などへの貢献が称えられたもので、改めて、その功績に感謝申し上げます。

今年も出動!! 除雪支援チーム

11月30日をもって3年間の任期を終えた民生・児童委員の一斉改選が行われ、12月1日付けで、新たに32人の方々が厚生労働大臣から委嘱辞令の交付を受けました。民生・児童委員には「常に住民の立場に立った相談や援助、必要な情報の提供」が求められ、地域福

祉のために重要な役割を果たしてくるものと期待しています。近年、少子高齢化の進行などによって様々な活動課題が提起されています。町民と関係機関とのパイプ役として活躍いただきたいと思います。この度、退任された3人の方々には、これまでの活動に心からお礼を申し上げます。

なお、冬期間の安心した生活の一助として今年度も除雪支援チームを配置いたしました。除排雪作業を自力で行うことが困難なお年寄りや身体の弱い人などを対象としており、民生・児童委員の方々に、その取りまとめをお願いしています。

ら、県補助金は平成17年度から廃止されることになりました。今後は、設置主体（11町）に対して交付される地方交付税の算定基準に加えられるものの、一般財源から支出が必要になります。

今定例会の補正予算に国庫補助金の削減分を含む所要額2、103万1千円を計上していますが、さらに施設経費の一層の効率化と財源の確保など、運営のあり方についても検討していきます。

国保税引き下げ策に 取り組み

平成16年度の当町の国民健康保険特別会計は、平成14年度から医療制度の抜本改革として示された国の施策に沿った町の国保運営関係者の呼びかけで成果が顕著に現れています。

そのひとつとして「退職医療への職権加入」が可能となったことを受けて、町では退職資格への切り換えを強化してきました。その結果「老人保健の加入年齢引き上げ」にもかかわらず、一般被保険者の療養給付費（11月決定9月診療分まで）を前年対比95・42%、

大野台エコーハイツは、県内初の軽費老人ホームとして昭和52年5月に開設して以来、町内外から高齢者の福祉施設として利用され、現在46人（定員50人）が入所されています。施設運営の主要な財源は事務費の国庫補助金と県補助金（負担割合各1/3）ですが、国庫補助金は平成16年度から

公立米内沢病院の経営健全化につぎましては、院長以下職員が丸となって、患者への接遇改善による入院患者の確保を最優先に取り組んでいます。10月以降の入院患者は若干上向き傾向にあることから、今

高額療養費（11月支給決定分まで）を前年対比82・75%に、それぞれ減少させることができました。引き続き国民健康保険者の負担をできるだけ抑制するため努力していきます。

なお、こうした影響から、退職被保険者については、前年対比138・00%、高額療養費は自己負担割合が3割に引き上がったこともあり、前年対比194・44%の大幅増となっています。

活用下さい 保健センターの健康器具

介護予防事業には福祉課と保健センターが連携して取り組んでいます。在宅高齢者の実態把握と療養指導を中心とした訪問指導事業を基盤に、各種の予防事業へと展開を図っています。

今年度はこれまで、65才以上の自立高齢者を対象に「生活習慣病予防」と「閉じこもり予防」のための運動指導事業を10回実施し、11月からは介護保険の認定によって「要支援」と「要介護1」とされた方々等を対象に「介護度の進行防止」

特産品の販路 拡大を願って

6月定例議会で補助金の議決をいただいた5、000万円の「合川町共通商品券」は、使用有効期限を平成17年1月31日としていますが、事業主体の合川町商工会が、昨年の要望や反省等を踏まえて町民の方々への周知に努められ指定販売所を14事業所に増やすなどして取り組まれ、平成16年11月27日をもって完売しました。

合川町特産品販売株式会社では、昨年に引き続き北欧の杜公園に4月6日から「杜のおにぎり屋さん」を開いていましたが、12月1日から冬季休業し来春の再開を予定しています。北欧の杜公園が持つ町の玄関口としての機能が、町内全域に及ぶよう努力していきます。

今年で3年目（最終年度）の緊急雇用創出特別基金事業（一般事業）で、公園等の環境整備を鷹巣阿仁地域シルバー人材センターに委託していましたが、11月26日で事業が終了し、延べ540・7人の雇用を創出しました。また、中小企業特別委託事業では、公有林・公園等の環境整備と学校・保育園等の環境整備に区分して、それぞれ9月13日に発注し、工期を平成17年3月10日としており、雇用を伴う整備が進められています。

育つことを期待しています。

今年の稲の作柄は秋田県が85の「著しい不良」、県北が94の「不良」とされていますが、当町の出荷量は5万4、822俵/60kgで契約数量（6万2、772俵）に対して87・3%にとどまりました。そのうち、1等米比率は88・6%でした。前年に比較すると出荷数量は上回ったものの、米価の下落による販売額の減少は大きく、農家経営は厳しい現状に置かれているものと受けとめております。

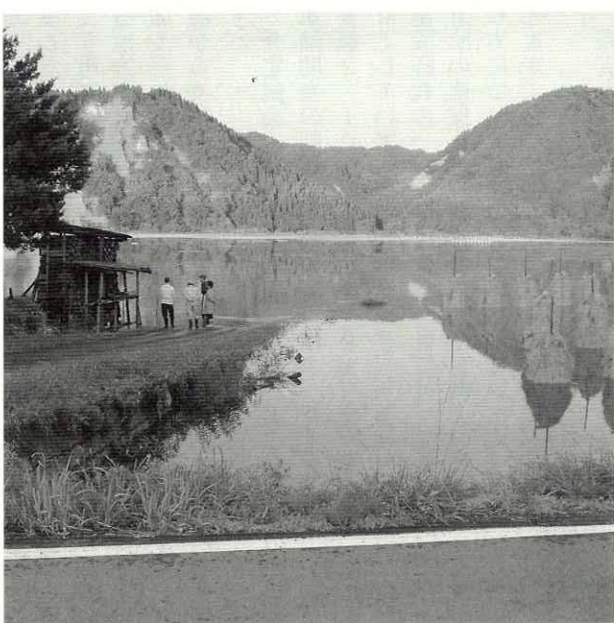
一昨年から取り組んでいる合川減農薬米の栽培面積は213ヘクタール（戸数は125戸）で2万9、686俵/60kgが出荷されました。きゅうりの出荷量は273トン（前年対比93%）で販売額は4、173万7千円（前年対比74・3%）、ほうれん草の出荷量は56・9トンで販売額は3、182万円となっています。野菜全体では、台風の影響による品不足によって販売価格は高くなりましたが、当町の出荷量も落ち込み、総販売額は計画を下回っています。

大豆の作付面積は127・5ヘクタール（内転作田99ヘクタール）で、収量は10アールあたり約90kgと予想されています。しかし、台風と収穫時の長雨によって、収量はさらに低下しているものとみられています。

比内地鶏 安心・安全・美味の一貫体系が確立

J Aあきた北央の比内地鶏素びな供給施設が9月に完成しました。同施設の概要は、

要は鶏舎1棟、ふ卵舎1棟、肉鶏生産施設10棟であります。当地域では素びなから肉鶏までの一貫飼育体系が確立されたことになり、生産された比内地鶏が、昨年完成した比内地鶏製品製造施設で処理加工されることによりトレーサビリティ（生産履歴管理）の完全な実施が可能になりました。「食の安全・安心・美味」として、さらに生産拡大と高付加価値販売を目指した取り組みを展開していきます。



続いた自然災害（写真）台風21号で収穫時期に冠水した田

災害復旧早期 発注に努力

8月9日の集中豪雨によ

る国の災害査定が11月11日
から行われ、農地、農業用
施設災害復旧事業について
は農地が4カ所、農業用施
設が2カ所で査定額が3、
450万2千円となってい
ます。

また、林道災害復旧事業
は2路線で1、097万7
千円の査定額なっていま
す。これらの工事につきま
しては、県からの予算割当
後、速やかに発注する予定
であります。

同災害による公共土木施

工



(写真＝合川浄化センター完成イメージ)

設災害復旧事業の第3次査
定が10月12日に行われ、
道路災害復旧工事は10カ所
3、676万円の決定額で
した。

また、台風21号による災
害は摩当沢川、町道伽羅陀
仙様線、町道西根田大内沢
線の3カ所を申請し、この
第5次査定が12月7日から
行われ1、887万1千円
の決定額となっています。
これらの工事につきまして
は、本年度発注可能額につ
いて県との調整を図り、発
注を進めていきます。

東根田下杉線の基本設計
(橋梁)業務委託が完了し、
河川敷の土地利用を含めた
橋梁計画の策定が進められ

ています。利用目的として

は、総合防災訓練広場と緊
急避難所を提示し、将来的
には河川防災ステーション
としたい考え方を基本に据
えて、現計画路線を災害時
の避難経路及び物資の緊急
輸送路となる最重要路線と
位置付け、計画橋長を短く
することにより工事費のコ
スト縮減も図られるものと
判断しています。また、橋
梁架橋に伴う河川協議の必
要資料を作成するため、河
川縦横断面測量・平板測量な
どの河川測量業務も発注し
ています。

迅速な除雪を 目指します

今冬の除雪計画は、昨年
同様、町直営で行うものと
し、迅速な初動体制をとり、
完全な初期除雪と良好な路
面管理に努めることはもと
より、通園・通学路など生
活道路を優先し、冬期歩行
者空間の確保にも努めてい
きます。なお、町道東根田
下杉線は交通量を勘案して
冬期間通行止めとして除雪
を行わない方針としていま
す。

木戸石・八幡岱地区の漏

水解消対策の一環として進
めている配水管布設工事
(延長2、908・8メー
トル)と、給水管布設工事
の本管引込みとメーターま
での接続替などの工事(1
38戸分)の進捗率は83・
8%で、残りの給水管布設
工事は来年度の工事を予定
しています。

公共下水道工事 国補助金が 大幅に増えました

合川浄化センター建設工
事は、15年度からの2カ年
工事で進めています。11
月末現在の進捗状況は土
木・建築工事が98%、機械・
電気設備工事が92%となっ
ています。公共下水道の一

部供用開始は、平成17年7
月と予定されており、今
が、合川地区の早期供用の
ための面整備を進めたく、
新規追加の補助等を要望し
てきましたが、この度、事
業費ベースで3億8、50
0万円(国費1億9、22
6万円)を増額し、16年度
総額を8億9、100万円
とする変更決定通知をいた
だきました。これを受けて、
管渠工事を川井・合川駅前
地区で実施するため、本定

例会に補正予算案及び浄化
センター土木・建築の工事
請負契約変更案を提出して
います。

短期まとび学園 伝えてください 農家の楽しさ

学童研修センターを拠点
として、共同生活をしながら
センターから通学し、子
どもたちが自ら学び、交流
と体験の中から自立の心を
養うことを目的にした「通
学合宿」に、今年度は、町
内各小学校児童(3年生か
ら6年生まで)26人を迎え、
11月20日から26日まで(6
泊7日)実施して、所期の
目的が達成され終了してい
ます。

冬休み・まとびの里子ど
も自然村は12月26日から30
日まで(4泊5日)の事業
を計画しており、参加予定
者は、県内外から小学生31
人(男子22人・女子9人)
です。今回は、さらにふる
さとの魅力と人情に触れて
ほしいとの期待から、集落
のみならず方(農家)に2
泊のお世話をいただくこと
にしていますので、よろし
くお願い申し上げます。

町民体育館の増改修工事
は5月14日着工以来順調に
進んでおり、工期は平成17
年1月末までの予定です。
12月10日現在で98%の進捗
状況で、最後の調整と諸試
験検査を残すのみとなつて
います。

第29回合川町産業文化祭
は、10月23・24日の2日間、
好天に恵まれ、盛大に開催
されました。町民体育館が
工事中のため、主会場が合
川中学校になりましたが、
合川町として最後の文化祭
ということでも両日とも多く
の人数でにぎわいました。
式典では、長年にわたって
町の産業・教育・文化に功
労のあった5氏を表彰し
て、その功績を讃えること
ともに、芸術文化奨励賞、
展示部門等の表彰を行って
います。

以上、各所管の主な事項
について申し上げますが、3
月の4町合併に向けて、平
常の町民サービスに加えて、
多岐にわたる移行事務が円
滑に行われるよう全職員の意
を結集して取り組む所存で
ありますので、よろしくお願
いを申し上げます。

みんなで語り合おう

そして北秋田市へ

新春座談会参加者

秋田県市町村課合併支援室副主幹

佐藤 満 様

秋田県北部男女共同参画センター長

佐藤 つじ子 様

合川町長 佐藤 修 助

(文中敬称を省略させていただきました)

佐藤町長 あけましておめでとうございます。広報の新年号のために、今年は、秋田県市町村課合併支援室副主幹の佐藤満さんと、大館市にあります秋田県北部男女共同参画センター長の佐藤つじ子さんにおいで願いました。

今年3月22日に、4町が合併して「北秋田市」が誕生するわけですが、お二人それぞれの視点から、ご意見を伺えれば、と思っています。

まず、お二人から自己紹介をお願いします。

佐藤満さん 私は、五城目町出身で現在も五城目町に住んでいます。学校卒業後、昭和56年に秋田県

に採用、大館の県税事務所が最初の勤務地でした。大館には5年間居まして、県北地域は管轄だったので、若干の知識はあります。現在は鷹巣阿仁地域合併協議会事務局に勤務しています。

佐藤つじ子さん 私は隣り町の鷹巣出身、鷹巣から出たことがなく、昭和51年高校卒業後地元の新聞社に勤め、平成11年から大館市の秋田桂城短期大学の講師、平成14年から現職の秋田県北部男女共同参画センターにも勤務しています。

町長 町長の任に就かせていただいたことから、2年になろうとしています。その前は農協組合長でしたので、町長になったら、こうするのだという考えを持って、皆様とともにがんばってきたつもりですが、思うように進んだものがあり、初めて勉強させてもらうものがあります。正直、男女共同参画というテーマもあり詳しい分野ではありませんでした。

佐藤(つ) 男女共同参画推進事業は国(内閣府)直轄。秋田県には秋田市、

横手市、大館市の3カ所に設置しております。全国でも県に3カ所というのは、秋田県と山梨県だけで、秋田県は、男女共同参画社会に向け、特に力を入れていると思います。現在は共稼ぎが主流で、男性が何でも背負っていくというのは、むしろ男性にとって負担になり男性が追い詰められる気持ちになることもあるのではないかと思います。そういう面でも、女性も社会に参画するということとは重要なことだと思っています。センターでは、そういった情報提供や相談窓口の紹介、男女共同参画に係わる地域グループをサポートしています。

佐藤(満) 県では、いろいろな会議に女性も積極的に参加してもらうよう進めています。例えば、農家にはいつも夫婦が仲良く働く姿がありましたから、これからの農業政策に、女性の声は、ぜひ必要だと思っています。そして、高齢化社会の問題もあり、女性の力だけではなく、老人の力も必要だということ、様々な政策

女性の「一歩」を応援したい

佐藤(つ)

美しい町合川に感激

佐藤(満)

を展開しています。

町長 私自身では、男だから女だとか区別している意識はありませんが、当町では、集落の会議は、ほとんどが男性。様々な会議でもほとんどが男性。新しい市の姿を考えていくとき「女性の声」はどうしても必要です。いろいろな活動の先頭に



佐藤つじ子さん

佐藤(つ) 女性の社会参加は進んでいます。しかし、私たちの住む地域社会で活動するという時に、地域特有の制度や習慣になれていないことが多いという点では、力を充分に発揮できずにいると思います。女性が社会や制度・人に慣れる環境作りは大切。一歩踏み出せば、何でもなかったと思うこともあると思います。そこで、その「一歩」となるきっかけをたくさん作りたいと呼びかけています。また、大きな課題として、育児や介護に積極的に関わる、関われる男性の意識変化と、職場と家庭を両立できる社会を

はばたけ合川町。



佐藤 満さん

作ることなどがあります。

佐藤(満) グリーンツーリズムということで、農業の楽しさや自然の魅力を紹介していきいきと活動しているケースが県内各地にあります。ほとんどは、農家の女性が「主人」になっています。責任をとるならば、女性の社会進出ができてくると思いますし、男性から見ても「なるほどなあ」と納得できてると思います。

佐藤(つ) 女性が役職や指導する立場になったときに、わからないことを聞いたときに、「何でわからないの」という姿勢ではなくて、そこで充分な話の場・環境づくりが大切だと思っています。その意味で、町村合併という形で地域が動いていく今年

は、地域の女性にとつて大きなチャンスではないでしょうか。

佐藤(満) 男女共同参画に逆行するようですが、最近、男性に元気がないというところも指摘されています。男性が女性を引き上げる——一緒に高め合うという姿が生まれてくれると理想的です。

町長 先ほどグリーンツーリズムの話がありました。女性が積極的に取り組んで「戦力」がアップすることは、地域の活力につながると思います。女性がいるようなところに参画できるような仕組みを作っていくために私たちに気が付かない事もあると思いますので、ご教示をお願いします。

少し話題を変えて、合川町を外から見てもう思われますか。

佐藤(つ) 合川は、美しい自然がいっぱいで特に私は、大野台ハイランドのファンです。高台に上がって四方を見回すと四季それぞれにすてきな思いにひたれます。

佐藤(満) 私は、五城目から鷹巣まで通勤していますが、合川に入ってから

きれいな景色が見られます。秋に上小阿仁の山を越えると、一面、霧がかかっている、空を見ると太陽が霧の間からキラキラと輝いていて「あー、キレイだな」と、止まって見たこともあります。

第一に、おいしいものが穫れる農業の町という印象があり、次に、大野台の印象があります。工業団地、北欧の杜公園、そして、隣接するあきた北空港があります。

佐藤(つ) 私は、鷹巣から出たことがなかったもので、合川というか、阿仁部の人をあまり知らなかったのですが、平成元年から100キロマラソンに関わったこともあり、合川を知るきっかけになりました。マラソンの運営を通じて合川の人達と接し、農業や林業といった第一次産業に携わっている人たちの発想が豊かで元気な人が多いんだな、と思いました。地域に誇りを持っている人が多い。だから、自信につながって元気なのかな、と思います。

佐藤(満) 合川の町づくりは、身の丈にあった上手なやり方をしていけるのかな、という印象があります。福祉の町づくりなど先見性のある人たちが堅実に取り組んできた成果だと思っています。欲を言えば、もう少し爆発力があったらいい感じかもしれません。



佐藤修助町長

町長 私は、合川で生まれ、合川で育ってきたわけですが、他の町村から比べると、面積が小さい町ですけれども、住民が保守的でない、心が開けている人が多いような気がします。とてもまとまりのある町だと思っています。合川町は、昭和30年に旧4村が合併してできた町ですが、町づくりに熱意のある人が多く、地域住民が一体となって一生懸命、合併に向け議論や、協力をしてきた結果、だと思っています。

佐藤(満) 昭和の大合併の時は、行政が力不足で、あれをやりましょう、これをやりましょう、というだけではなかったもので、住民が様々な意見を出し合い、暴力沙汰(さた)になったほど、相当もめたと聞いています。

佐藤(つ) 鷹巣の女性史研究会の資料に「昭和の大合併で、婦人会の参加のあり方」というのがありました。北秋田地域振興局の庁舎を、大館に置いた、鷹巣に置くかで、すごい論争をして婦人会の中でも組織の戦いをした、とありました。庁舎は、鷹

7/広報あいかわ



未来を語ると、話がいつまでも
尽きませんでした

巢に置かれ、大館の婦人会は、鷹巣の婦人会に庁舎を持つて行かれたということで、その責任を取って役職を辞めるといふような記事がたくさんありました。その位、暮らしと政治を一生懸命考えていたのだと驚きがありました。

町長 今回の4町合併が、経済的な理由だけで合併をするのであれば、私は残念に思います。住民が、「合併をしてこういう町づくりをしましょう」と、もつと熱意を出してほし

いと感ずる場面もありました。

行政に任せつきりではなく、もつと意見や議論をしてほしいようにも感じます。特に若い人たちの声を届けてほしいと期待しています。昔は青年会活動が盛んですが、今でも、お酒を飲みながら真剣に町のことを話し合っている若者の姿を見かけますので、なんとか、そうした声をくみ上げるきっかけを作りたいと話合っています。

佐藤(満) 地域に住む若い人が発言するということは、そこに長い間住むというところで、責任を持つて発言することになるので、そこで、意見がぶつかり、譲れるもの、譲れないものができて、燃え上がって半分、喧嘩みたいになっても、そこからいい意見が出てくるんじゃないかな、と思います。

佐藤(つ) 100キロマラソンは、ただのイベントではなくて、自分たちの町は、行政に任せたとはいふ消極的な町づくりではなくて、地域に住む者として、共働でやろう、積極的な関わり、一緒に作

業しませんか、というのが本来の目的でした。当時、町づくりシンポジウムを皆で開催することの意義とその重要性を知ることにより、行政・企業・民間の三位一体の協力体制が、全国的に知られるイベントに育ちました。

町長 平成19年に秋田国体が開かれる関係で、埼玉国体に視察に行つて来ました。ところが、会場市民に訪ねても、国体のことがほとんど知られていない。他人事(たにんごと)の様でした。こっちは「町を上げたイベント」として取り組まれていくわけでコミュニケーション意識が高いことに安心して帰ってきました。19年国体に向けた地域づくりがいろいろな分野で将来につながる形になってほしいと期待しています。

佐藤(つ) 観光の観点から、私たちが結論として出したのが、鷹巣だけ、合川だけという単町村での町づくり、観光づくりでは、いけない。広域的に考え、地域のつながりを持つこと。内陸線が全線開通したことをきつか

新市誕生はみんなのチャンスです 佐藤(つ)

若者と夢を語り合いたい

町長

けに誕生したのが100キロマラソンでした。テーマを据えた話し合いの場があれば、いろんな事で活力が生み出される気がします。

佐藤(満) 町村合併が、「合併しました。はい、終わりました。次」ではなくて、合併をきっかけとして、みんなが一緒に町づくりをしていけるよう、若者に呼びかけをしていける環境づくりができないと、いい合併にならないと思います。この地域が持つ大きな魅力に十分に、観光や政策に生かしていったほしいです。とても、可能性がある地域だと私は思います。

町長 合併は、地域作りの「夢」を実現していく手段で、合併後の地域の発展、町づくりを考え、行動しなければならぬと考えます。北秋田市の新庁舎は大野台の3町が交わる地点としていますが、空港も近いし、工業団地もあり、北欧の杜公園という自然をおおいに生かした公園もあり、一番いい土地柄ではないでしょうか。北秋田市は県内では、2番目の広さの市になるわけで、いち早く一体性を確保するため、地域住民と行政が、一丸となって協力し、考えていかなければなりません。

佐藤(満) アメリカやヨーロッパを見ますと、飛行場があつて、広い土地があるところにIT企業や大企業がきています。美しい環境の中で、行き来をしないでインターネットで仕事をし、実際に人が動かなければならない時は、すぐ動ける環境にあることが魅力なのだと思います。大野台も広い土地を生かし、公共施設、病院があれば、必然的に人は集まるし、企業も目

を向けるだろうし、発展のための恵まれた条件がある所だと思っています。

佐藤(つ) この地域の、第一次産業にもっと力を入れ、それを地域特産、観光へ生かし、経済活性化につながる観光。全国からこの地域に来た人たちに誇りを持った提示をしていけるものを考えていきたいらと思います。

町長 合川町が発足した際、いち早く中学校を建て地域一体性を目指さすことが考えられていました。合川中学校の同じ釜の飯を食べて、同じ合川町民だということを意識できたのだと思います。今では、旧4村の地域性は、ほとんど感じられないと思います。そんな施策を北秋田市では何に求めるかを考えないと、鷹巣だ、合川だ、森吉だ、阿仁だという地域性の意識がいつまでも続いてしまいます。何らかのテーマを見つけ、それに向かって行かなくてはいいなと思います。

佐藤(つ) 観光客は、他にないものを求めますが、それは高価な物でも特別な物でもなく、この地域

大野台に広がる無限の可能性

佐藤(満)

心一つにしてすばらしい未来に

町長

の素朴な人情やまごころと触れ合いを求めているように思います。この豊かな自然は、心が落ち着く、心のよりどころになる観光が、この地域に一番合っていると思います。合川のキリタンポ・比内地鶏は、100キロマラソンの関連商品としては、一番人気の特産品と言って良いほどに全国的に人気があります。

佐藤(満) この地域は、高速道路の計画もあるそう

が必要でしょうけど、とても、夢のある魅力的な地域ですね。そこにはやはり、若い人の力が必要になってくると思います。

町長 若い人たちの職場作りというのは、新市に期待されているもつとも大きな課題としてアンケートなどでも寄せられています。例えば、農家民宿という形など、地域の自然を生かして若者の生活の場として考えてくれる人がいたらうれしいです。

いろいろお話ししていただきましたが、最後に今年の初夢を聴かせてください。

佐藤(満) 個人的なことを言わせて頂きますと、子どもも小さいし、家庭が円満でさえあればいいです。仕事の面では、県内の合併はいろいろ、すつたもんだありましたけど、合併の花が咲くのはこれからですので、今は種を植えた段階ですので、きちつと花を咲かせるために、もう一頑張りしたいと思います。そして、北秋田市ができた後も、私自身の一生の記憶

に残るような、そして、思い切って合併の決断をした皆さんに後悔させないような協力を、これからもやっていきたいと思っています。

佐藤(つ) ようやく男女共同参画という言葉に、興味を持っていただき、少子高齢化対策や、みんなが主役になっていける新しい町づくりへの参加はもしかしたら、自分たちの身近な足元の問題を肩肘を張らない、ざつとばらんな参加と、みんなが話し合える場ができた方がいいなと思います。森吉山の麓や大野台に、日本



夢のある町づくりが期待される大野台
(写真=北欧の杜公園)

のレトロ(復古調)な町並みを作り、冬はトナカイのソリで走りたいという夢を持っています。

町長 集中豪雨があり、台風もたくさん来たサル年は、早くサルことを願っていました。3月22日に生まれる新市「北秋田市」の発展を願って、地域が互いに協力し、そして助け合い、すばらしい未来にむかって、飛躍するようがんばりましょう。町民の皆様方が比内鶏とともに羽ばたくトリ年になるようお祈りいたします。どうもありがとうございます。

秋田スギの香りほんのり。

町民の元気集れ新体育館

平成19年秋田わか杉国体 フェンシング競技会場

平成17年1月11日、改修工事を終え新しく生まれ変わった町民体育館がオープンします。皆様のスポーツ拠点、そして交流の場として多くにご利用ください。会議室、トレーニングルーム、ミーティングルームなどを増設し利用しやすい施設になりました。町民体育館は、平成19年「秋田わか杉国体」フェンシング競技の主会場に決まっています。

完成記念イベントにどうぞご来場ください（入場無料）

工事竣工記念招待

中学校バスケットボール大会

●日時 1月15日（土）

午前9時～

中学校女子8チームによる大会です。熱いご声援をお願いします。



わらび座公演

響「わくわく」コンサート

●日時 1月21日（金）

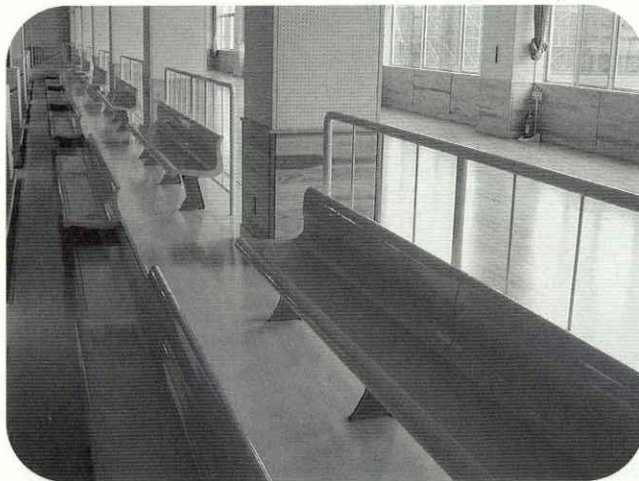
午後1時30分～2時30分

中学校芸術鑑賞としてわらび座公演「響」が開催されます。「響」は、和楽器を使いミュージックパフォーマンスバンドとして活躍中です。

※体育館へご来場の方は上履き（ズック、スリッパ等）をご持参下さい。



これまでより180㎡広くなった体育室。わか杉国体らしく壁に秋田スギを使用しました



2階には276席増え690席になった観覧席。そして、252㎡もある多目的スペース。

1月11日（火）から一般貸し出しを開始します。どうぞご利用下さい。

合川町民体育館（☎78-2178）

被災者への大きな力になっています

新潟中越地震義援金

11月29日、合川東小学校の皆さんが、新潟中越地震で被災された方々への義援金を持ってきてくれました。
当町で集まった義援金の総額は12月末で139万3,057円になりました。
ご協力ありがとうございました。
東小学校の皆さん



地域の安全を願って

年末年始特別警戒出動式

12月10日、森吉警察署で年末特別警戒出動式が開かれました。当町からは、交通指導隊、防犯指導隊、駐在所警察官が参加しました。この後町内を巡回し、地域の安全を呼びかけました。
防犯対策は万全に



かわいい演技がすてきでした

合川保育園発表会

12月4日、保育園で発表会が開かれました。0歳児から5才児までの園児が練習の成果を保護者や祖父母に披露しました。0歳児はイスに座って、かわいらしくチューリップを振り、2歳は、ミッキーマウスになって踊りました。
お父さんたちは、かわいい演技をカメラやビデオに収めようとして、会場いっぱいレンズが園児たちを追っていました。園児たちは、少し緊張していましたが、上手に踊りや歌を楽しんで披露しました。



かわいい忍者でござる!!

園児とふれあい、笑顔がいっぱい

一人暮らしのお年寄と交流

12月8日、町内に住む一人暮らしのお年寄り31人が保育園の昼食会に招待されました。最初に園児からおゆうぎが披露され、一緒に手拍子をして楽しみました。そして、園児手作りの紙ねんどのカタツムリがプレゼントされ、続いて園児達は、お年寄りの後ろに廻り、肩たたきの歌に合わせ「トントン、トントン」と肩をたたき、笑顔がいっぱいでした。

昼食会では各教室に分かれ、お話をしながら楽しく給食を食べました。



小さな手での肩たたき

地域の団結力をさらに深めて

集落代表者会議

12月6日、役場で集落代表者会議が開かれ、主に合併後の地域の活動や行事について話し合われました。
広報紙の配布などを行なう行政協力員の配置については、50世帯に1人、最低でも集落に1人とした。行事については、合川まとはびは新市でも継承していく、体育祭は新市で1本化したい。粗大ゴミの収集については、今までどおり収集していきたいとの説明がありました。住みやすい町になるよう、たくさん意見が出された会議でした。



活発な意見交換が行なわれた会議

「広報あいかわ縮刷版」の予約を受付します

広報あいかわは、昭和30年6月30日の創刊号以来、毎月号数を重ね、558回（平成17年1月現在）発行してきました。

平成17年3月22日に4町が合併し、北秋田市が誕生します。広報あいかわは約50年の歴史に幕を下ろすこととなります。広報あいかわの縮刷版は平成元年に、創刊号から379号までを発行しております。今回は、続きの380号（平成2年1月号）から559号（平成17年2月号）までを縮刷版として発行します。合川の歴史の一つとして各家庭にどうぞ。

■広報あいかわ縮刷版（平成2年1月号～平成17年2月号）

■価格 3,000円（税込み）

■申し込み 官製はがき、FAX（0186・78・3277）又は直接役場総務課へお申し込みください。代金は、お引き渡しの時に頂きます。（電話では受付しません）

■申し込み期間 平成17年1月25日まで

■お引き渡し 平成17年3月1日から役場で行ないます。送付希望の方は代金引換でお送り致します。送料は実費（1,000円程度）です。その場合は必ず送付希望と書いて申し込みして下さい。

■申し込み方法

018-4272	合川町新田目字大野八二二
	合川町役場総務課
	広報係 行

●氏名	広報あいかわ縮刷版を申し込みます
●住所	
●電話番号	
●希望冊数	
※送付希望の方は、送付希望とお書き下さい	

■お問い合わせ 役場総務課（電話 0186・78・2100）

6 FAXも同様に記入して下さい。

社会福祉法人合併公告

当社会福祉法人合川社会福祉協議会は、平成17年3月22日社会福祉法人北秋田市社会福祉協議会に合併して解散する旨を、理事会及び評議委員会において議決しましたので、この合併につき異議のある債権者は、本公告掲載日から平成17年3月10日までその旨をお申し出下さい。

平成16年12月30日

秋田県北秋田郡合川町新田目字大野71番地1
（消滅法人）社会福祉法人合川町社会福祉協議会
会 長 松 岡 稔

■お問い合わせ 社会福祉法人合川町社会福祉協議会
電 話 78-3166

合川町男女共同参画計画（案）にご意見下さい

当町では、女性と男性が、互いにその人権を尊重しつつ責任も分かち合い、性別に関わりなく、その個性と能力を十分に発揮できる男女共同参画社会の実現に向けて、男女共同参画計画を策定予定です。そこで、策定にあたり、男女共同参画計画（案）を作成しましたので、町民の皆様にご意見等をお寄せして頂きたいと思っております。計画案は役場総務課にありますので、1月25日までにどうぞご意見をお寄せ下さい。

■お問い合わせ

役場総務課（78-2100）



平成17年
成人者名簿

(敬称略)

永坂 和子(道城)	平川 朋晶(李岱)
疋田 真悦(上杉)	成田亜有美(李岱)
工藤 丈弥(上杉)	平川 美咲(李岱)
米倉 麻有(上杉)	木村 健太(李岱)
佐藤 史哉(下杉)	近藤 大典(李岱)
櫻井 優(下杉)	木村 美子(李岱)
櫻井 文暁(下杉)	木村 信人(李岱)
櫻井 博輝(下杉)	成田 智陽(李岱)
三浦 一寿(合川)	松岡 幸悠(羽根山)
斎藤 瞳(合川)	松岡 友咲(羽根山)
福岡紀美子(合川)	齋藤 伸(新田目)
梅田 健大(合川)	長谷川枝穂(新田目)
村上 大祐(合川)	安部 真徳(新田目)
加藤 葉月(合川)	齋藤麻衣子(新田目)
金田亜希子(合川)	齋藤 大樹(新田目)
松岡 正樹(合川)	鈴木 啓仁(福田)
松岡 美幸(合川)	杉渕 静香(杉山田)
佐々木 舞(合川)	山岡 睦(雪田)
佐藤 有悟(合川)	杉渕あゆみ(雪田)
佐藤 恵(合川)	鈴木 豊(鎌沢)
木村 尚人(合川)	御所野 英(鎌沢)
櫻田 敬大(合川)	三浦 愛(三木田)
堺 千佳子(合川)	三浦 雄平(三木田)
櫻庭 雄幸(川井)	三浦 英恵(三木田)
三浦さやか(川井)	三浦麻里子(三木田)
清水 宏太(川井)	加藤 圭佑(東根田)
佐藤 翔(川井)	櫻田 裕子(東根田)
文本 愛子(川井)	櫻田 聖子(西根田)
森岡紫徳里(桃栄)	金田美穂子(西根田)
小野 智(桃栄)	伊勢 萌(八幡岱)
近藤友加里(桃栄)	畠山彩弥雅(木戸石)
佐賀恵里香(桃栄)	畠山 智道(木戸石)
木村 幹征(梅栄)	櫻庭 喜寿(木戸石)
山田 彰恵(金沢)	佐々木郁子(木戸石)
古船場美歩(金沢)	安部 徹(増沢)
森岡亜紀奈(松ヶ丘)	杉渕 瑞穂(増沢)
土濃塚 渉(埼玉県)	杉渕 友紀(増沢)
小笠原政義(松ヶ丘)	小笠原啓仁(増沢)
清水 聖子(松ヶ丘)	安部麻衣子(増沢)
小林 浩平(李岱)	澤藤真奈美(美栄)



1月4日、農村環境改善センターで町の成人式が開かれました。平成17年の町内在住者と町出身者の新成人は80人です。3月22日に当町は合併し、北秋田市が誕生するため、今回で合川町としての成人式は最後でした。

式典では、佐藤町長が「生きるということとは社会的な関係を積み重ねること。常に向上心を持って時代の変革と身辺に気を配り、自然豊かな生まれ故郷ですばらしい人生を送っていただきたい」と励ましのあいさつ。続いて来賓や中学時代の恩師から、たくさんのお祝いのメッセージが贈られました。

新成人誓いの言葉では、安部徹(とおる)さんが「私たちが育つ

初心を忘れず 熱い気持ちをいつまでも

てきた合川町は、今年で合併し北秋田市と変わってしまいましたが、合川町最後の新成人として、このふるさとで生まれ育ったことを誇りに思いながら、名実ともに成人となることを誓います」と決意を述べ、記念作文の発表では、土濃塚渉(わたる)さんが、これまでの家族への感謝の思いや、今後の抱負を綴った作文を読みました。(新成人記念作文は、16ページに掲載しています)

式典後の記念講演では、ポップスデュオ・ダックスムーンが「踏み出す一步の勇気を」と題して、弾き語りを交えながら、新成人の皆さんに励ましのエールを送りました。



しろつ

No. 246



お話の世界に引き込まれる子どもたち。



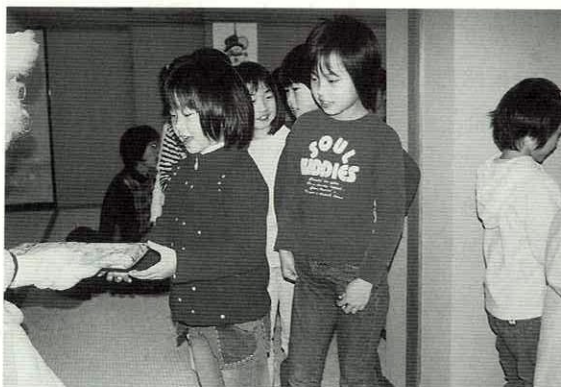
ラップ巻きごはんやデコレーションケーキを楽しく作りました。

12月23日に農村環境改善センターで、町公民館と保健センター合同で「ハッピークリスマス会」が開かれ、子どもやお父さん、お母さん約40名が参加しました。

大館市から招いたインストラクターによるレクリエーションゲームを楽しんだ後は、ボランティアアグルーピッコロによるおはなし会とケーキや料理づくりをしました。

おはなし会では、紙芝居やエプロンシアターを楽しみ、特に部屋を暗くしてパネルに貼った絵が光って見えるブラクシアター（月へのぼつてうさぎ）の幻想的なお話に、みんな引き込まれていました。料理は町食生活推進委員のみなさんの指導で、ラップ巻きごはんやロールケーキにクリームやくだものをのせて、自分だけのクリスマスケーキを作りました。身体をおもいっきり動かし、後の食事は、みんな食欲旺盛で残さずおいしそうに食べていました。

最後には、サンタクロースさんから一人ひとりにプレゼントが手渡され大喜びの様子でした。



プレゼントを受け取ってみんな大喜びでした。

楽しかったね！

ハッピークリスマス会



合川町文化財保護協会



会員の福岡サヨさんによる芥川龍之介「羅生門」の朗読

12月6日（月）改善センターで、第一回歴史を読む会が開かれました。同会は、文学作品の朗読を通して、作家の意図を汲みながら当時の世相や歴史上の人物など、人々のものの考え方を想像し、あらためて感覚的に歴史の事象を捉えていくことをめあてに開かれており、芥川龍之介作「羅生門」の朗読を通して、参加者それぞれが、当時の人間性・社会観を一層深く豊かなものにしました。

登場人物を通しての作者のねらいや、今の時代との対比としての倫理的な時代差、中央（京都）とわが地方の生活や文化の落差が話題となり、その原因を確かめる意見交換がされ、歴史への見方が多岐に広がっていき、盛り上がったひとときとなりました。

第一回「歴史を読む会」



公民館
図書室

ライブラリースポット

新年明けましておめでとうござい
ます。昨年はたくさんの方にご利用
いただきましてありがとうございます。
今年も皆さまのリクエストにお
答えしていきたいと思ひます。
どうぞ、ご利用ください。

今月の新着図書紹介

☆一般書

「約束の地」

志水 辰夫

「霧笛荘夜話」

浅田 次郎

「精霊の街」

早坂 真紀

「古本屋の女房」

田中 栞

「義経」

宮尾登美子

「間宮兄弟」

江國 香織

「明日の記憶」

荻原 浩

☆児童書

「ねずみちゃんととりすちゃん」

どい かや

「わにわにのおふろ」

小風 さち

「わすれられないあくりもの」

スーザン・バーレイ

「ハウルの動く城」

魔法使いハウルと火の悪魔

ダイアナ・ウィン・ジョーンズ

☆寄贈書

「無言館 1〜3」

稲山 純子さん



「天使の卵」吉田祐子さん（川井）
ありがとうございます。

初冬の一句

— 合川俳句会 —

いたすらに指差をふまえるかまど猫
バスのゆく野を遠巻きに山眠る
窓鏡波り直して冬帽子
十二月ふと口づさむ海行かば
母と子の拾う手許に銀杏散る
風呂炊きのきまらぬ味や重き箸
行商の背に万両の香が満ちる
供ふれば遠影はほえむ冬の菊
生きているうらはは現役おでん煮る
玄関に木枯連れて葉の名刺
月みつ盛るごとき加齢や去年今年
ねんねこの泣く見とあやし五七五

【訂正とお詫び】

広報前号で俳句を誤って掲載しました。正しくは次のとおりです。訂正しておわび申し上げます。

里に住み郷遠くなる十三夜
(誤・里に住み郷遠くなる一三夜)

菊地 奈津
成田 つ紗
高谷 琴子
木村キクエ
吉田 富美
島山 チヤ
佐藤 貴美
櫻田善太郎
杉浦みどり
佐藤阿智子
土佐 隆歩
佐藤 勇助

南小学校PTA研修「悩む子供といかにむきあうか」

12月9日(木)、合川南
小学校PTAで子育て研修
会が開かれました。

講師に長信田心療クリ
ニックの精神保健福祉士「水
野淳一郎氏」を招いて、不
登校、ひきこもりなどの子
どもに対し、親や周りの大人がどう対応していけばよい
かななどを詳しく話していただき、父兄の皆さんも熱心に
聞き入っていました。



会場いっぱいの参加者が
講演に聞き入りました

ロビー展開催中

農村環境改善センターロビーにおいて、公民館自主講座・
サークル団体等で製作された作品を展示しています。どなた
でもお気軽にご覧下さい。

只今、
展示中

てまりの会
代表 片山幸子さん



※1/12より トールペイント(代表 松岡みゆきさん)の
作品を展示する予定です。

新成人記念作文

1月4日、町成人式
で発表された新成人
作文をご紹介します。

ありがとう合川町

土濃塚 渉さん



みなさま、新年明けましておめでとうございます。早いもので、合川町に生まれ、合川町に育った私たちも、もう20歳を迎え、まだ社会人として未熟ながらも大人の仲間入りを果しました。これも私たちを暖かく見守りいただき、そして困難にぶつかった際にいつも進むべき道を示していただいた、両親及び恩師の方々、そして、本日よりの来賓の方々のおかげと思うと、感謝の気持ちでいっぱいです。この場をお借りして、お礼の言葉を述べさせて頂きます。ありがとうございます。

さて、わたくし土濃塚渉は、現在生まれ故郷である埼玉に住んでおります。この合川町に帰ってきたのは実に一年半振りですが、懐かしさと

共に、まるでこの地を生まれ故郷とし、20年間過ごしてきた地であるような錯覚に陥りました。その様な気持ちにさせられたのは、おそらく、この合川町で過ごした6年間で、今成人したわたくしにとって、とてつもなく大きく、意味のあった充実した6年間であったからでしょう。わたくしは合川町に6年間すごしたあと、関東の国立大学を目指しました。しかし、残念ながら希望の大学への合格はかなわず、埼玉の地において浪人せざるを得なくなりました。一年間の浪人生活をへて、昨年無事に東京都内の国立大学に合格することができました。その浪人生活はとても辛いものでしたが、そんなわたしを支えてくれたのが合川の友人であり、困難にくじけない強い心を養ってくれたのは、思春期をすごした合川町での様々な経験でした。

今、成人し20歳を迎えて、わたしをわたしとして形成したらしめているのは、ほぼすべてこの合川町で出会ったものだということに気がつきました。そう考えると、ますますこの合川町が好きになり、心身共にきちんとした大人になろうと改めて思いました。

成人式をこのように迎えると、世間的にも、また自分の内面においても大人であることの意味を考えるようになりました。そこで、わたしは、ここを契機に自分らしく大人になろうと決めました。自分らしく大人になるとはまず自分に素直になろうということなんです。将来は高校教員か、または中央省庁に勤めたいと、考えています。その自分のなりたい、という気持ちにうそをつかないためにも、夢にむかって努力を惜しまず、立派な社会人になりたいと思います。さらに僕はこの合川町で出会った大切なものがまだあります。それは、仲間と共に青春を駆けぬけた陸上競技です。その陸上競技を大事にし、今後さらに上をめざして日々大学での練習に励みたいと思います。

今年度をもって、この合川町は合併し新たに北秋田市に変わってしまいます。わたしたち2000年合川中学校卒業者は、最後の、合川町から羽ばたいていく仲間です。合川町の名前で成人式を迎え、大人の仲間入りを果たしたことを誇りと喜びにして、皆さん、これからの未来に向かって、希望をもち、大人としての自覚とともに人生を歩んでいきましよう。

～ろばた講座のご案内～

隣近所お誘い合わせの上、多数ご参加ください。

第1回ろばた講座

日 時 平成17年1月19日(水)
午後1時30分より
場 所 合川町農村環境改善センター
演 題 「虫と人間の関わりなど一雑感—」
講 師 県立鷹巣農林高等学校 教頭 伊東 公士 氏
共 催 合川町文化財保護協会・合川地方史研究会

第2回ろばた講座

日 時 平成17年2月3日(木)
午後1時30分より
場 所 合川町農村環境改善センター
演 題 「もっと元気をだそうよ—政治、経済、社会の断面—」
講 師 ジャーナリスト 石川 嘉明 氏

羽ばたこう！とり年

いよいよ、とり年のスタート！

皆様はどのような“ヘルステザイン”を描いている
つしゃいますか？思い思いのすてきな“ヘルステザ
イン”で、今年も「健康なまちづくり」の輪をさら
に大きく広げましょう！

保健センターから

健康 メッセージ

136

＜トレーニング機器の使用目＞

1) 使用時間 午前9時～午後4時

月曜日	65才以上の方
火曜日	一般開放
水曜日	パワーアップ教室（足腰の弱い人）
木曜日	お休み
金曜日	パワーアップ教室（足腰の弱い人）

2) 午後4時以降と土・日曜日使用は前も
って相談して下さい。

3) 使用時はズックを持参して下さい。

4) パワーリハビリ教室への参加希望者は
保健センターに申込みして下さい。
(TEL 78-4272)

冬は運動不足の解消・体力づくり・
健康管理に、どうぞお気軽におい
下さい。

また、シーズンに備えて合川中学
校スキー部の生徒さん達も下肢筋力
のトレーニングに活用しています。
多くの皆さんの健康増進に役立
つよう左記のとおり使用日を設定して
います。

あなたの健康づくりを応援します！

トレーニング機器で、健康増進を

支えあうやさしい
家庭や地域づくり



宝くじは
豊かさ築く
チカラ持ち。

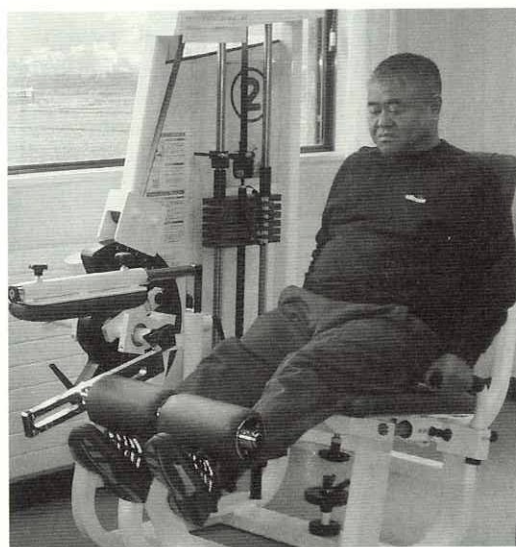
宝くじは、広く社会に役立てられています。

すべての人の
健康増進に

「トレーニング機器の設置」と「健康なまちづくりフォーラム」
は「共生のまちづくり」宝くじ補助金により実施しています。



パワーアップ教室



シニア運動教室

バザーへの出品、ご協力ありがとうございました！

町内外から寄せられた500点以上の子ども用品。お陰様で
やさしい環境づくりと共にふれあいも大いに深まりました。
バザーの売上金“32,120円”は新潟中越地震の見舞金と
して納めさせていただきました。

健康なまちづくり

「新春フォーラム」のお知らせ

※期日 1月25日（火）10：00～

※場所 サンシャインあいかわ

詳細は、後日ちらしでご案内します。

山村留学 まとび学園

No.31

11月20日から26日まで町内の小学生を対象に通学合宿が開かれました。参加者は、学園の子どもたちを含めて26人、昨年も参加した子どもが11人いました。開村式の後、自分たちで使用する箸(はし)作りをしました。小刀を使ったことのない子どもたちでしたが四苦八苦しながらも上手に箸ができました。そして、できた箸で食事です。合宿では正座での食事でしたので、多くの子どもたちはイスに座つての食事に慣れていて、なかなか正座ができない子もいましたが、徐々に慣れて正座ができるようになりました。



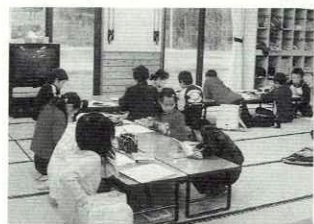
箸作りに挑戦

にうれしかったようで学校へ持っていた子もいました。

食体験では、大根の漬け物や野沢菜漬けを作ったり、採りたての大根を食べたりしました。お餅作りでは、ダンシや椿餅を作りました。自分で作って食べた餅は最高だったようです。

合宿では、6時の起床、夜の9時に消灯、ゲームやテレビも見ず親元を離れての集団生活。「自分のことは自分でやる」を目標に、つらいこともあったでしょうが、よくがんばりました。家族の方も心配で学校に行ったり、兄弟の様子を聞いて方もいたようです。最終日には「もつと良かった」と言いながら家路につきました。

家庭から離れて「家族の暖かさ、家族の良さ」「学校の楽しさ」を知った通学合宿でした。



みんなで宿題



からみないキャンプ場でのマタギ体験

合川高校

(このコーナーは合川高校で作っています)

生徒商業研究発表大会に出場

(開催日：11月26日、開催地：秋田市「ジョイナス」)

今年で10回目の開催となる秋田県高等学校生徒商業研究発表大会に、情報ビジネス科3年生5名が参加しました。この大会は、東北大会の予選となるもので、上位2校が東北大会出場権を得ることが出来ます。本校は、「幻の味!『じゃつぷ』の全てを探る」を研究テーマにその成果を発表しました。

テーマ設定にあたり、「学校祭を利用した企画はどうか」という提案から、数年前から復活した二ツ井町の「じゃつぷ」(氷菓子)の歴史などを調べることにしました。そして、製造元である三國商店から販売許可を得て、商品の仕入れ・販売・宣伝活動へと作業をスムーズに進めることができました。

研究発表大会当日、機材の準備もスムーズに行い、ほどよい緊張感の中「よし!いよいよ本番だ。」と操作担当の合図によって開始しました。12分間の発表を終えて、「緊張したけど、発表が終わってホッとした」「結果よりもこれまで取り組んできたことをすべてだすことができた」と感想を述べてくれました。最後に、今大会に出場するにあたってご協力いただきました、三國商店の皆様にお礼を申し上げます。



三國商店でジャップの作り方を学びました



合高祭で幻のジャップを販売しました

トピックス

平成17・18年度北秋田市の入札 参加資格審査申請書の提出について

◎町村合併により平成17年3月22日に「北秋田市」となることに伴い、平成17・18年度の入札参加資格申請は次のとおりです。

1. 申請様式

①町内の土木・建築工事・林業関係の業者の方は、北秋田市独自申請様式での提出となります。

※申請様式は、合川町のホームページ掲載のものをダウンロードするか合川町役場建設課でお受け取りください。

②測量・建設コンサル等の業者の方は、国土交通省統一様式又は秋田県様式での提出となります。

③町内物品・製造等に係る業者の方は、総務省統一様式又は秋田県様式での提出となります。

※②、③の様式は、各ホームページよりダウンロードしてください。

2. 受付期間・・・平成17年1月6日から平成17年2月末日（ただし、土曜、日曜及び祝祭日は除く。）

3. 有効期間・・・平成17年4月1日から平成19年3月31日（2年間）

4. その他・・・提出書類はA4サイズのファイル綴込（表紙及び背表紙にタイトル、社名を記入のこと。）※ファイルの色の指定有り（建設工事関係は赤色、測量・建設コンサル等は青色、物品・製造等は緑色）

5. 提出先・・・合川町役場建設課（☎78-2115）までお願い致します。

※町内業者は合川町へ、町外業者は鷹巣町への提出となります。

町が発注した公共工事です

町が発注した公共工事（契約額250万円以上）の入札および契約の過程についてお知らせします。

工 事 名 称	予定比較価格（円） （消費税抜き）	指名業者	入札額（円） （消費税抜き）	摘要
合川町浄化センター外構工事	8,591,000	㈱赤石土木	8,450,000	
		㈱喜組	8,470,000	
		㈱宗和	8,400,000	落札
農業集落排水統合補助事業 西地区 第06505-1号工事	7,850,000	㈱赤石土木	7,780,000	
		㈱喜組	7,700,000	落札
		㈱宗和	7,750,000	

合川消防団の伝統を引き継いで

消防出初め式

1月4日、合川町として最後の消防出初め式が約200人の関係者出席のもと、開かれました。役場前で行なった観閲式では、消防団員と鷹巣阿仁広域市町村圏組合消防署合川分署の消防車両が迫力ある行進をし、伝統ある纏を高々と上げ、無火災、無災害を願いました。

引き続き農業環境改善センターで開かれた式典では、長年、消防活動に務められた消防団員の表彰や、新入団員の辞令交付などが行なわれ、消防活動の一層の努力を誓い合いました。



とても勇ましい行進です

平成17年度

町県民税申告相談日程表

平成17年度（平成16年分所得）の申告相談日程は以下の通りです。日付・時間をよく確かめて、忘れずに申告しましょう。

集落等	受付日	受付時間	場 所	集落等	受付日	受付時間	場 所
芹 沢	2月1日(火)	午前9時～11時半 午後1時半～3時半	芹沢集会施設	三 里 大内沢	2月23日(水)	午前9時～11時半 午後1時半～3時半	三里担い手 セ ン タ ー
弥 栄	2月2日(水)	午前9時～11時半	弥 栄 児 童 館	上 杉	2月24日(木)	午前9時～11時半 午後1時半～3時半	上 杉 あ い ターミナル
摩 当	2月2日(水)	午後1時半～3時半	摩当活性化施設		2月25日(金)	午前9時～11時半 午後1時半～3時半	
下 杉	2月3日(木)	午前9時～11時半 午後1時半～3時半	下杉集会施設				
東根田	2月7日(月)	午前9時～11時半 午後1時半～3時半	東根田集会施設	八幡岱 林 岱	2月28日(月)	午前9時～11時半 午後1時半～3時半	八 幡 岱 集 会 施 設
新田目 福 田	2月8日(火)	午前9時～11時半 午後1時半～3時半	新田目児童館	鎌 沢	3月1日(火)	午前9時～11時半 午後1時半～3時半	鎌沢生活改善 セ ン タ ー
増 沢	2月9日(水)	午前9時～11時半 午後1時半～3時半	増沢集会施設	李 岱	3月2日(水)	午前9時～11時半 午後1時半～3時半	勤 労 者 福 祉 研 修 施 設
杉山田	2月10日(木)	午前9時～11時半 午後1時半～3時半	杉山田集会施設	李 岱 明 田	3月3日(木)	午前9時～11時半 午後1時半～3時半	勤 労 者 福 祉 研 修 施 設
川 井	2月14日(月)	午前9時～11時半 午後1時半～3時半	川 井 公 民 館	金 沢	3月4日(金)	午前9時～11時半	金 沢 児 童 館
	2月15日(火)	午前9時～11時半 午後1時半～3時半		電 話 予約者	3月6日(日)	午前9時～11時半 午後1時半～3時半	役場大会議室
				桃 栄	3月7日(月)	午前9時～11時半	桃 栄 児 童 館
羽 立	2月16日(水)	午前9時～11時半	羽 立 児 童 館	美 栄	3月8日(月)	午後1時半～3時半	美栄集会施設
松ヶ丘	2月16日(水)	午後1時半～3時半	松ヶ丘児童館	木戸石	3月8日(火)	午前9時～11時半 午後1時半～3時半	木戸石児童館
西根田	2月17日(木)	午前9時～11時半 午後1時半～3時半	西根田生活 改善センター		3月9日(水)	午前9時～11時半 午後1時半～3時半	
羽根山	2月18日(金)	午前9時～11時半 午後1時半～3時半	羽根山活性化 施 設				
電 話 予約者	2月19日(土)	午前9時～11時半	役場大会議室	梅 栄	3月10日(木)	午前9時～11時半	梅 栄 児 童 館
道 城	2月21日(月)	午前9時～11時半 午後1時半～3時半	道 城 児 童 館	雪 田	3月10日(木)	午後1時半～3時半	雪田集会施設
				合 川	3月11日(金)	午前9時～11時半 午後1時半～3時半	役場大会議室
					3月14日(月)	午前9時～11時半 午後1時半～3時半	
三木田	2月22日(火)	午前9時～11時半 午後1時半～3時半	三木田多目的 集 会 施 設		3月15日(火)	午前9時～11時半 午後1時半～3時半	

2月19日および3月6日は、予約が必要です。受付できる人数に限りがありますので、お早めにご予約ください。またこの日は、平日に申告に来られない方を対象にしていますので、それ以外の方はご遠慮ください。

予約のお電話は ☎78-2112 合川町役場 財政課へ

なお、上記の日程で都合のつかない場合には自分の集落以外で申告することもできますが、その場合は、希望する日の前日までに財政課へご連絡ください。

■ 軽油引取税免税証（農業用）の交付申請を受け付けます ■

●申請日時 1月27日（木）午前10時～正午・午後1時～午後3時

●申請場所 役場第2応接室

●申請に必要な書類

	交付申請に必要な書類など	新規	更新	継続	書換
1	免税軽油使用者証		○	○	○
2	使用する機械の購入等証明書	○			○
3	免税軽油使用者証交付手数料400円	○	○		
4	免税軽油の引き取りなどに係わる報告書		○	○	○
5	免税軽油の引き取りを証明する納品書や購入証明書など		○	○	○
6	未使用免税証（残券）		○	○	○
7	耕作面積の証明書（共同の場合は全員分）	○	○	○	○
8	印鑑（共同の場合は全員分）	○	○	○	○
9	誓約書	○	○		

●交付日時 2月7日（月）午前10時～午前11時

●交付場所 役場第2応接室

■問い合わせ 北秋田地域振興局総務企画部県税課（大館市☎0186-49-2211）
または役場財政課（☎78-2112）

大館税務署からのお知らせ

■所得税の還付を受けるための申告は、お早めに

次のような方で、源泉徴収された税金が納め過ぎになっている方は、還付を受けるための申告（還付申告）をすることができます。この還付申告は、確定申告期前でも税務署にすることができますので、なるべく早めに申告してください。

- ① 給与所得者で、医療費控除、住宅借入金等特別控除などを受けることができる方
- ② 公的年金等に係わる雑所得以外に申告を必要とする必要のある所得のない方
- ③ 平成16年の途中で退職した後就職しなかった方で、年末調整を受けなかった方
- ④ 退職所得がある方で、その所得を含めて申告することによって源泉徴収された所得税から定率減税を受けることができる方

■インターネットで所得税・消費税の申告書、決算書等が作成できます

仙台国税局のホームページの「確定申告書等作成コーナー」では、画面の指示に従って、金額を入力することにより申告書を簡単に作成することができます。作成した申告書は、カラープリンターで印刷すればそのまま税務署へ提出することができます。ぜひ、ご利用下さい。

仙台国税局ホームページアドレス <http://www.sendai.nta.go.jp>

■お問い合わせ 大館税務署（大館市☎0186-42-1836）または、役場財政課（☎78-2112）

消防署を語る新手の「おれおれ詐欺」にご注意ください

◆仙台市で起きた事例

11月中旬、一人で留守番をしていたおばあさんのところに、紺色の服を着た男性2人が訪ねてきて「お宅で救急車を利用したので代金として3万円支払ってください」と言われ「家族がいないのでまた来てほしい」と言っていたん帰した。その後、不審に思った家族が消防署に「消防署は代金を請求するのか」と問い合わせをした。

消防署では事例のような救急車、消防車出動の利用料を請求することはありません。お気をつけ下さい。

■お問い合わせ

鷹巣阿仁広域市町村圏組合消防本部（☎62-1119）

秋田内陸線の「お座敷雪見号」で白銀の景色をどうぞ

秋に大人気だったお座敷列車を、より多くの皆様に楽しんで頂くために定期的に運行をします。運行日は2月24日までの火曜日と木曜日です。お弁当を予約された方は、座席を確保します。どうぞご利用ください。

詳しくは、内陸線各駅または役場に備え付けのパンフレットをご覧ください。

■申込・お問い合わせ

秋田内陸線観光（☎82-3666）

こまち乗継フリーきっぷが2,000円でお買い求めできます

秋田内陸線では利便性アップの企画として、内陸線から秋田新幹線こまちの指定乗車券を購入してくださる日帰りの方は、こまち乗り継ぎフリーきっぷを2,000円でお買い求めできます。どうぞご利用ください。

■お問い合わせ

秋田内陸線観光（☎82-3666）

鷹巣旅行センター（☎60-1111）

講演「桂文也のジェンダーブレイク」(入場無料)へどうぞ

男女共同参画社会推進の一環として、桂文也さん（落語家）が社会事情や自身の体験に生活を照らしながら、巧みな話術と笑いに包んだ講演をします。どうぞ、ご参加ください。

●日時 1月14日（金）

午後6時から8時まで（開場午後5時30分）

●会場 たかのす風土館ファルコン

●定員 600人（定員に達し、入場できない場合があります）

※無料の託児所があります

■お問い合わせ

鷹巣町役場（☎62-1111）

北部男女参画センター（大館市 ☎0186-49-8552）

秋田県育英会の学生寮入寮希望者を募集します

秋田県育英会では平成17年度の学生寮入寮希望者を募集します。募集するのは、東京寮（男子寮・東京都世田谷区）と、ビューリー千秋寮（女子寮・神奈川県川崎市）です。

■お問い合わせ

（財）秋田県育英会（☎018-860-3552）

町の辞令

1月1日付。職名略

▼総務課

佐藤 春彦（採用）

年金受給者の皆さんへ

源泉徴収票が送付されます

老齢基礎年金や老齢厚生年金などは所得税法上の「雑所得」として取り扱われます。

社会保険庁では、これらの年金を支給している皆さんへ、一月下旬までに「公的年金等源泉徴収票」を送付します。

この「公的年金等源泉徴収票」には、平成十六年中に支払われた年金額・源泉徴収税額・扶養親族等の内訳などが記載されています。

年金以外に所得のある方などは、確定申告の際に必要となりますので、大切に保管してください。なお、障害年金や遺族年金は非課税のため源泉徴収されませんので、源泉徴収票は送付されません。

国民年金は二十歳から！

新成人になられた皆さん、おめでとうございます。

日本国内に住所のある二十歳以上六十歳未満のすべての人が国民年金に加入し、保険料を納めることになっています。「年金なんてまだ先のこと……」などと思っていまいませんか。国民年金は老後だけでなく、病気やケガで障害の状態になったときなどにも年金が支給されます。

しかし、加入の届出や保険料の納付を忘れると、年金が受けられないこともあります。忘れずに手続きしましょう。

○国民年金についてのおたずね先

役場福祉課（☎782113）

親子で、みんなで楽しくスポーツ！スポーツ交流会へどうぞ

運動不足になりがちな冬に、みんなで楽しくスポーツをしませんか。フライングディスクやキンボール、ユニカール、ミニテニスなどでさわやかな汗をながしましょう

●日 時 1月30日(日)

午前9時30～正午

●会 場 能代山本スポーツセンター「アリナス」

●費 用 小学生100円、中学生以上200円(保険料含む)

■申し込み・お問い合わせ

アリナス(☎0185-54-2322)

今月の上杉あいターミナルからのお知らせ

【今月の開館時間・休館日】

★開館時間 午前9時～午後5時

★休 館 日

1/1(土)、2(日)、3(月)

9(日)、10(月)、16(日)

22(土)、23(日)、30(日)

(都合により上記以外にも休館日となる場合があります)

【申し込み・問い合わせ先】

上杉あいターミナル(☎78-9290)

ホームページ

<http://www.kamisugi.jp/>

農家の皆さん・調査にご協力ください

2005年農林業センサスは、農林業に関して行う諸施策に必要な基礎資料を整備することを目的に実施します。ご協力をお願いします。

●調査日 平成17年2月1日現在で調査をします
調査員が各農家をお尋ねします。

●調査対象 農林産物の生産を行うか又は委託を受けて農林業作業を行い、生産又は作業に係る面積・頭数が一定規模以上の「農林業生産活動を行う者(組織の場合は代表者)」を対象に行います。

●調査事項

- ア. 経営の態様
- イ. 農業労働及び林業労働
- ウ. 耕地及びその他の土地
- エ. 家畜及び蚕
- オ. 農業用の機械及び施設
- カ. 農業生産物
- キ. 農作業
- ク. 山林
- ケ. 育林及び素材生産
- コ. その他農林業経営体の現況

を把握するために必要な事項



●お問い合わせ 役場総務課(☎78-2100)

農林水産省・秋田県・合川町

農林水産省のホームページ <http://www.maff.go.jp/>

ーお待ちしておりますー

ひまわりの家

営業時間

午前8時30分～午後7時

休館日

1日、2日、11日、

17日、24日、31日

イベント 冬休み親子工作教室(参加無料)

1月9日、10日 午前9時30分～午後3時30分

キャンペーンショー 大日向明子 1月9日午後1時～
北原良 1月10日午後1時～

【問い合わせ先】ひまわりの家(☎78-4025)

広報 クイズ

次の問題の?にあてはまる数字やことばを考えてください。答えは、広報今月号の中にあります。

- 問1 新町民体育館が完成。???
?を体育館の壁に利用しています。
- 問2 広報あいかわ縮刷版は???
?円で販売します。
- 問3 2月1日現在で2005年???
?センサスを実施します。ご協力ください。

締め切り=1月20日(必着)

応募方法=答え、住所、氏名を明記してハガキ・ファックス・Eメールで応募してください

応募先=合川町役場(住所・郵便番号・ファックス番号・Eメールアドレスは、広報の最後のページをご覧ください)

正解者の中から、2人に500円相当の図書券をお送りします。

【前号の答え】問1.(32) 問2.(ニューソラン) 問3.(追納制度)

【前号の当選者】松岡茂雄さん(羽根山)
桜田彩香さん(東根田)
(応募者4・正解者4)

【ご寄付のお礼】広報郵送料として
三浦俊二さん(静岡県)

慶弔 だより

(11月届け)

【お誕生おめでとうございます】

こども 両 親
中田 あいちゃん 誠 さん (木戸石)
真 弓さん

【ご結婚おめでとうございます】

(佐 藤 博 之さん (川 井)
(穴 倉 由紀子さん (道 城)
(石 田 健 さん (大館市)
(藤 嶋 久美子さん (美 栄)
(金 田 光 明さん (松石殿)
(吉 田 由 佳さん (合 川)
(近 藤 典 昭さん (李 岱)
(畠 本 夏 織さん (中仙町)

【謹んでお悔やみ申し上げます】

吉田 ノブさん 84歳 川 井 養助さん母
成田 フサさん 83歳 合 川 守治さん妻
米倉 チヤさん 86歳 上 杉 岩男さん母
佐藤 政雄さん 78歳 合 川 雅樹さん父
松岡 イヨさん 83歳 合 川 本人
齋藤 清助さん 81歳 新田目 イネさん夫

まち

平成16年10月末日現在

男 3, 7 5 2人 (5人減)

女 4, 1 6 7人 (5人減)

計 7, 9 1 9人 (10人減)

世帯数 2, 9 9 3世帯 (1世帯増)

【訂正とおわび】

広報11月号の「慶弔だより」のなかで、おくやみの欄にお名前を誤って掲載しました。正しくは次のとおりです。訂正しておわび申し上げます。

平川 與次郎さん 84歳 李 岱 トシさん夫
(誤：平川 與次郎さん)

合川町役場総務課

〒018-4272

秋田県北秋田郡合川町新田目字大野82-2

☎ 0186-78-2100

FAX 0186-78-3277

ホームページアドレス

<http://www.town.aikawa.akita.jp>

Eメールアドレス

soumu@town.aikawa.akita.jp

広報 あいかわ

No.558

平成17年1月11日

1月の広報カレンダー

保セ=保健センター 農セ=農村環境改善センター
町体=町民体育館 保育園=あいかわ保育園

日	曜日	行 事 な ど
1	土	元旦
2	日	
3	月	
4	火	成人式 (AM10:00~農セ) 仕事始め 消防出初め式 (PM1:00~役場前から農セ前)
5	水	新年度保育園申し込み開始 (21日まで)
6	木	
7	金	パワーアップ教室 (AM10:00~保セ)
8	土	
9	日	
10	月	成人の日
11	火	トレーニング機器開放日 (一般) (AM9:00~PM5:00保セ) ヘルシークラブ (AM10:00~保セ)
12	水	ダンディ倶楽部 (AM10:00~ひまわりの家) パワーアップ教室 (AM10:00~保セ)
13	木	糖尿病予防料理教室 (AM10:00~PM1:00保セ)
14	金	ふれあい広場 (AM10:00~保育園) パワーアップ教室 (AM10:00~保セ)
15	土	町民体育館完成記念バスケットボール大会 (AM9:00~町体)
16	日	
17	月	トレーニング機器開放日 (65歳以上) (AM10:00~PM5:00保セ) ヘルシークラブ (AM10:00~保セ)
18	火	トレーニング機器開放日 (一般) (AM10:00~PM5:00保セ) 高脂血漿予防料理教室 (AM10:00~PM1:00保セ)
19	水	育児相談・離乳食指導 (AM9:30~保セ) パワーアップ教室 (AM10:00~保セ)
20	木	3才児健診 (PM12:30~保セ)
21	金	新年度保育園入園申し込み締めきり日、パワーアップ教室 (AM10:00~保セ)、子育て支援「あいあい」(AM9:30~保育園)
22	土	第40回首都圏合川会総会 (PM2:00~アルカディア市ヶ谷(東京都)) 新入園児面接日 (AM9:00~保育園)
23	日	新入園児面接日 (AM9:00~保育園)
24	月	トレーニング機器開放日 (65歳以上) (AM10:00~PM5:00保セ) ヘルシークラブ (AM10:00~保セ) 第16回合併協議会 (PM1:30~農セ)
25	火	トレーニング機器開放日 (一般) (AM10:00~PM5:00保セ) 健康なまちづくり新春フォーラム (サンシャインあいかわ)
26	水	パワーアップ教室 (AM10:00~保セ)
27	木	リハビリ学級 (AM10:00~保セ)
28	金	ふれあい広場 (AM10:00~保育園) パワーアップ教室 (AM10:00~保セ)
29	土	
30	日	
31	月	トレーニング機器開放日 (65歳以上) (AM10:00~PM5:00保セ) パワーアップ教室 (AM10:00~保セ)